

と右たれは現く如の星慧  
バーコレイヘイタ  
大浦

A close-up photograph of a white, textured surface, possibly a wall or ceiling. A dark, horizontal shadow or crease runs across the upper portion of the image, creating a strong contrast with the bright white area below. The texture of the surface appears slightly grainy or fibrous.



奧地繼越し約四百八十萬

便局  
窓口

新中央郵便便の開設、特別取扱は二十日から開始され、局長は尚ふ餘巻で眠不休の大車輪で廿九日取組を終つたが廿九日までの取組便受累計が二百三十三萬三千八百七十七圓に比べて二十四萬の増、對前年が百萬七千四百四十圓で約十七萬高し増、東地方から一の郵便船二十五萬六千八百五十五圓、對前年十七萬の増幅を示してゐる次に窓口事務もこの取扱で二十三日まで三十日の増へ

「爲替振出八十八萬八千八百八十一圓」

（前年一千七百二十四圓）  
（郵便一十三增）（對金預入  
六百四十四增）（對銀預入  
二四七增）拂展一千五百二十一（對前年）  
（一八の減）  
（振替金拂込一千五百二十二）（對前年）  
（拂  
漢百三十二）（對前年三減）  
（小包引受五百三十九個  
（對前年七五〇個）  
（陸運一萬三千二百二十一個）（對前一年三四四〇個）

感懐的に見て人口増加につれ年賀郵便の数は著しく増加したが、窓口扱が除かれ減少した入口に比例して多少減少してゐるのは、昭和時代から

建設年代に入り景気が漸分下火となつた現はれてはなにかと見れる。

大野總長から

慰勞金一封

不眠不休ながら職務のやうな多岐を極めたる新中央郵便局局長の勞を稱ふより、中村付局長、備田市官を隨ち中央局に向つて同鉢巻を贈り、中央局に到りての實況を親く祖觀察樓上室に至て局長に金一封を呈し勞を稱

愈よ明日に迫る

歐洲調査主要二・三日間の人口調査はいよいよ明日に迫り、調査局では準備全く成り當日の待つばかりであるが、この期待の大事業に對し一般の協力を期しては總務統計協会の力を受けることである。

滿洲(年八)民族表五國八項目で決まりて載した結果を得るために完結せられた早報書の各戸を注意すべき事項と是非誤謬ならざる様式なりを非難せられる様式

本調査は皆様の正確の報告により始めての結果を得ることに終つたのである。此の歴史的な文化事業に非難の一役協力する

有難涙に暮るゝ

**野上さん一家**

昨日更に佐藤氏から甘園裏な野上憲三さん一家に對し「を買つてよいのでせ」と信ぜられぬい様子である。近藤花女にも一斗、ま平和と胡問六、二六號と登舟會員北澤輝三氏より白木ことである。

佐藤明三郎氏から現三十圓附れども東二條通より十圓病失を蒙るた女を直

すが人口調査は國家政策施設の重要な一環たるが基礎資料を得るに非ざればならぬものでありますから申告する者は二月十三日現在に至つてその戸に生活の根柢をもつてその戸に就き調査事項を有するの調査正しく記入して下さる。調査事項は(一)姓名(二)戸籍上の地位(三)男女の別(四)出生の年月(五)職業(六)出生地(七)来

苦海の幼馴染のため――  
偽小切手を行使

南國に咲いた戀の暗夜行路  
——歳末——  
掉尾の人情公判

例年より七度寒い

正月は上天氣

[illegible]

奉天冰上大會

## 第二日の成績

**第二日の成績**  
 十九度履 西五米といふ惡コ  
 手淫別號我大會第一日は廿九  
 日午前九時半風速西といふ  
 氣温零下十八度 年後は零下  
 ンデツシの中 で横行 各  
 選手 各陣に 懸る妙技をみ  
 ぜ 輕脚錦を 賜ふ 年後  
 (ベurlin 大使七日發通)  
 廿七日ガルミツバ 郎氏  
 キルヘン)に到着した。大使

太會場に到着  
 杉村大使

赤十字新京支部へ  
七千圓の寄附

大原、北原、竹村氏外廿氏から

也を日本赤十字社新京支部を通じて寄附するところあつた  
大原萬千百、北原廣、竹村  
圓宛を寄附  
△河野五百  
佐藤精一

用紙一枚を窃取し、西本唯  
次氏の名を借り、同人の印  
鑑を使用し、満洲銀行員を  
二人に扮せしめて、

人偶然にも宇和島の町で二  
人が出逢ひ、一夜人生の不  
遇をかこつたのが縁となり  
二人は切實に

起すれば本官又一湘の涙  
きにあらず、彼若水野が  
代治を救はんとする人偶

たものである  
と起訴事實を述べ引續き  
の論告に移り下  
きさし始ぬ  
命のいたず  
には置かな  
は昭和九年

検事 田中敏事は、  
 被告水野所請の犯罪事實は、  
 私印盗用、有價證券偽造、  
 使詐欺に該當する罪名であ  
 ることを、面談してその  
 罪を口頭で  
 列ね、口頭で  
 五馬路共榮樓で現代治とし  
 て左様をすることとなり、較  
 替して渡した。となり残さ  
 された水野は遂に意を決し  
 ていくばくか  
 して  
 被告をねめつけ更に座を  
 比較する。とき、すべから  
 告に對しては實刑を要求  
 するのである

る、由來被告は農家に成育し、純情なる田舎の子供として生ひ立つたが大森シズエ

**旅費**  
てを求めて  
計事務員と

からは遊び友達だつて、小学校に入る頃にも二人で机を隔て是の湖風に吹かれ、幸ふも是の日のを送つてゐたがその喜びはいつ迄も續

海船の後は美代治を受け出す餘裕なく、銀行の小機手をもつて滿洲、熊本の千五百圓を引出し手の切れるやうな札をもつて美代治を齊岡に託し、その新

に於ては國康の生計より減殺されることであ

本件は振替金千五百圓は時使よく支拂き盡す、彼が以後更生を誓ひ改

の情願著なるを認むる

救濟院收容者も

十二月二十六日、本市救濟院  
 容者の爲め此の正月に御馳  
 として與ふる様、市公署經  
 料一同より白面四袋、市公  
 出入商人東渡拜より白面五  
 の寄附があつた。救濟院で  
 救濟院の養豚の肉と白面で  
 子を作り正月を少しでも樂  
 く迎へさせやうとのことだ  
 る。

ら甘名合格

までの例を破つて百二十名多數に上つてゐるが、之が、所式は一月十日と三月中旬の二回に至つて行はれる筈である、新京署及び領警の合者は左の如くである

本社募集の  
新人放送終了

本社主催演藝放送新人募集  
選者の第二回放送はフアン  
待望を擔つて二十九日午後  
時五十分より一時間半に亘  
て新京放送局より行はれな  
うれも獨得の持藝を發揮して

世に新人當選者全部の放逐を  
完了した

中野正剛氏

に投宿、同地で春を迎へ二日に  
速北支へ向ふ予定である

初日の出を拜  
するつどひ

新東渡社境内に於ける新京

寄附 既報新京市民早

化聯盟より金十萬瓦斯會社

○今此の主なる故後番組

讓店又貨店  
吉林料理店  
歸國に付居拔の儘至急譲り度し  
委細御問合せは  
電話二二三四八番

女 流 浪 曲 王

秘 曲

南部坂雪の別れ  
高田の馬場  
乃木將軍  
日蓮上人  
片田落  
瀧島戀の旅日記  
齊藤内蔵之助

# 京山 禁千代

女流浪曲界の最高峰



余 興

都多逸  
博多節  
米田吉句  
追分  
其二上  
其下也

●入場料●

大人 壹圓  
小 八十五錢

主權者 植木興行部  
大次元 林田關治郎

一 行連名

京山 若華

京山 みどり

富士 早雲

京山 神風

潮 寶舟

吉田 一平

三枝 井實

募 集

ホー ル 擴 張 に つ き

喫 茶 女 店 員 數 名

撞 球 場 女 店 員 三 名

希 望 の 方 は 三 十 一 日 高 中 迄 に 來 談 あ り た し

交 通 無 料 白 通 五 二 五

昌 進







セバード牝九ヶ月

木村桐タンヌ販賣所

右之者不適合相重なり今較解讀仕り候就直爾後解所とは何  
等關係御座無條問此段讀去仕候  
康徳十年十二月二十七日  
新井吉野町目下十二番也

會席膳、吸物碗、

無類重箱

電話 二五